



第63回 公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会 第35回 日本医療社会事業学会

開催要項

大会テーマ

時代をつらぬく医療ソーシャルワークの実践

～一人ひとりが尊ばれる、排除のない社会をめざして～

開催日：2015年5月28日（木）～2015年5月30日（土）

会場：京都市勧業館みやこめっせ

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9-1（二条通東大路東入）

主催：公益社団法人日本医療社会福祉協会

京都医療ソーシャルワーカー協会

大会趣意

医療ソーシャルワーカーは、保健医療の場で社会福祉の立場からクライアントの最善の利益を追求する専門職です。医療ソーシャルワーカーを配置する機関は増加し、組織の中での位置づけや業務も多様化しています。今この時代にあって、医療ソーシャルワーカーは何を大事に、どのような視点で業務を遂行していくのかが問われています。

今大会では、時代をこえて医療ソーシャルワーカーが保ち続けなければならない医療ソーシャルワークの本質を共有したいと考えています。

「時代をつらぬく」とは、どんな時代にあっても医療ソーシャルワーカーは、その本質を保ちつつ存在し続けることを意味しています。未来に向けても医療ソーシャルワーカーが真価を発揮し続けるためには、変わらない本質を身につけながら新たな時代の変化に対応していなければなりません。

諸先輩方から受け継いだ医療ソーシャルワークの実践を、未来に向かってより力強いものにしていくためには何が必要でしょうか。今大会では、医療ソーシャルワークの根底にある価値、「一人ひとりが尊ばれる」「排除のない社会をめざす」を再確認し、時代をつらぬく医療ソーシャルワークの実践について共有したいと考えています。

公益社団法人 日本医療社会福祉協会

会長 佐原 まち子

全国大会大会長

京都医療ソーシャルワーカー協会

会長 南本 宜子

後 援 (予定)

厚生労働省 京都府 京都市 公益社団法人日本医師会 公益社団法人日本看護協会 公益社団法人日本社会福祉士会 社会福祉法人全国社会福祉協議会 公益社団法人日本理学療法士協会 一般社団法人日本作業療法士協会 一般社団法人日本精神科看護協会 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 公益財団法人日本精神衛生会 社会福祉法人NHK厚生文化事業団 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 一般社団法人全国公私病院連盟 一般社団法人日本病院会 一般社団法人日本社会福祉学会 公益社団法人日本てんかん協会 公益社団法人日本介護福祉士会 公益社団法人全国老人保健施設協会 公益社団法人全日本病院協会 一般社団法人日本言語聴覚士協会 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 公益社団法人認知症の人と家族の会 公益社団法人全国自治体病院協議会 一般社団法人日本難病・疾病団体協議会 チーム医療推進協議会 日本医療社会福祉学会 NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 一般社団法人日本介護支援専門員協会 公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 公益社団法人日本精神科病院協会 公益社団法人日本薬剤師会 一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会 一般社団法人全国デイ・ケア協会 一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会 宅老所・グループホーム全国ネットワーク 特定非営利活動法人日本医療リハビリドレナージ協会 公益社団法人日本栄養士会 一般社団法人日本義肢装具士協会 一般社団法人日本救急救命士協会 公益社団法人日本歯科衛生士会 公益社団法人日本視能訓練士協会 日本診療情報管理士会 公益社団法人日本診療放射線技師会 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 公益社団法人日本臨床工学技士会 公益社団法人日本臨床細胞学会 一般社団法人日本臨床心理士会 一般社団法人京都府医師会 公益社団法人京都府看護協会 一般社団法人京都社会福祉士会 京都精神保健福祉士協会 社会福祉法人京都府社会福祉協議会 社会福祉法人京都市社会福祉協議会 公益社団法人京都府介護支援専門員会 一般社団法人京都府理学療法士会 一般社団法人京都府作業療法士会 京都府言語聴覚士会 一般社団法人京都府薬剤師会 公益社団法人京都府栄養士会 京都府介護福祉士会 京都府訪問看護ステーション協議会 一般社団法人京都地域密着型サービス事業所協会 NPO法人京都難病連 一般社団法人京都府介護老人保健施設協会 一般社団法人京都府老人福祉施設協議会 一般社団法人京都市老人福祉施設協議会 一般社団法人京都私立病院協会 京都府病院協会 朝日新聞京都総局 京都新聞社 株式会社京都放送 NHK京都放送局

(順不同)

大会事務局

西陣病院 医療社会福祉課

住 所：京都市上京区溝前町 1035

電 話：075-465-7326 / F A X：075-465-7347

E-Mail：kyotojikkou@gmail.com

5月28日(木)

時間	プログラム
14:30～	社員総会受付・大会受付
15:30～	公益社団法人日本医療社会福祉協会 社員総会・永年表彰
総会終了後	認定医療社会福祉士制度説明

5月29日(金)

時間	プログラム
8:30～	大会受付
9:30～10:15	開会式
10:30～12:00	基調講演 排除することのない分かち合いの社会を求めて 講師 浜 矩子 同志社大学大学院ビジネス研究科教授
昼 食 (弁当引き換え：11:00-13:00)	
12:00～13:00	全国医療ソーシャルワーカー協会会長会会議
13:00～14:00	鼎談 “ニーズからの創造 個別援助・支援からソーシャルアクションへ” ～社会資源創出の体験からソーシャルワークの本質に迫る～ 鼎談者 小西 加保留 関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科教授 松野 勝民 済生会神奈川県病院 内藤 雅子 済生会京都府病院
14:15～15:45	特別対談・当事者として学ぶ 一人ひとりが尊ばれる実践について考える 対談者 和久井 みちる 生活保護利用経験者・「生活保護とあたし」著者 吉永 純 花園大学社会福祉学部教授 コーディネーター 巖 弥生子 瀬尾クリニック
16:00～17:30	記念講演 京都大原での暮らし～ベニシアの心の宝物～ 講師 ベニシア・スタンリー・スミス ハーブ研究家
18:00～	交流会受付 (京都ホテルオークラ)
18:30～20:30	交流会 (京都ホテルオークラ 3階：翠雲の間)

5月30日(土)

時間	プログラム
8:30～	大会受付
9:00～10:30	教育講演 時代をつらぬく医療ソーシャルワークの実践 ～変えてはならないもの・変えるべきもの・新しく創るべきもの～ 講師 岡本 民夫 同志社大学名誉教授 特別講演2 自殺企図者の再発予防にケース・マネジメントが有効! －ACTION-Jの研究成果に基づくMSWへの呼びかけ－ 講師 河西 千秋 札幌医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 (医学部神経精神医学講座・附属病院神経精神科) 主任教授 山田 素朋子 北里大学病院

5月30日(土)

時間	プログラム												
9:00～10:30	報告会 1 東日本大震災、3.11から5年目の春を迎えて ～ソーシャルワーカーの活動報告及びディスカッション～ 報告者 日本医療社会福祉協会東日本大震災災害支援担当チーム												
	報告会 2 ソーシャルワーク定義における文化と多様性の視点 講師 志村 健一 東洋大学社会学部社会福祉学科教授												
10:40～11:50	特別講演 1 超少子高齢社会を乗り切る方法は地域包括ケアシステム以外にない 講師 唐澤 剛 厚生労働省保険局長												
10:40～12:10	京都企画・時代をつなぐ 医療ソーシャルワーカーはどこへ向かうのか ～社会福祉専門職としてのあり方～ 講師 山本 みどり 西陣病院												
	報告会 3 データシステムの今後の展望 ～エビデンスデータの作成を目指して～ 報告者 日本医療社会福祉協会調査研究部データシステム担当チーム												
	報告会 4 医療基本法を学ぼう 報告者 小林 洋二 患者の権利法をつくる会事務局長 弁護士												
昼 食 (弁当引き換え：11:00-13:00)													
12:00～13:30	全国医療ソーシャルワーカー協会研修担当者会議												
12:20～13:20	初任者向けランチオン企画 想いを言葉に ～ソーシャルワーカーの魅力、あなたの心を動かす原動力は？～ (実務経験概ね3年未満 定員50名)												
13:40～16:15	分科会 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>第1分科会</td> <td>ソーシャルワーク実践Ⅰ・ソーシャルワークリサーチ</td> </tr> <tr> <td>第2分科会</td> <td>ソーシャルワーク実践Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>第3分科会</td> <td>業務分析・業務開発Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>第4分科会</td> <td>業務分析・業務開発Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>第5分科会</td> <td>人権とソーシャルワーク実践</td> </tr> <tr> <td>第6分科会</td> <td>教育・スーパービジョン</td> </tr> </table>	第1分科会	ソーシャルワーク実践Ⅰ・ソーシャルワークリサーチ	第2分科会	ソーシャルワーク実践Ⅱ	第3分科会	業務分析・業務開発Ⅰ	第4分科会	業務分析・業務開発Ⅱ	第5分科会	人権とソーシャルワーク実践	第6分科会	教育・スーパービジョン
第1分科会	ソーシャルワーク実践Ⅰ・ソーシャルワークリサーチ												
第2分科会	ソーシャルワーク実践Ⅱ												
第3分科会	業務分析・業務開発Ⅰ												
第4分科会	業務分析・業務開発Ⅱ												
第5分科会	人権とソーシャルワーク実践												
第6分科会	教育・スーパービジョン												
16:30～	閉会式												

* プログラムの内容については、変更の可能性があります。

* 5月30日の初任者向けランチオン企画は事前申し込みが必要です。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

* 東日本大震災復興支援のためのバザー販売を予定しています。

第35回 日本医療社会事業学会

第1分科会 ソーシャルワーク実践Ⅰ・ソーシャルワークリサーチ

座長 北海道医療大学 巻 康弘 氏

- 1-1 地域包括ケアシステム構想づくりに関する、手挙げ方式チーム編成の意義 ～足寄町役場福祉課の試み～
足寄町役場 ○高田 康範
- 1-2 遠距離であるからこそその訪問相談の意義 ～足寄町から65キロ離れた帯広へ～
足寄町国民健康保険病院 ○寺本 圭佑
- 1-3 医療領域における貧困層の患者と医療ソーシャルワーカーの関わり
仙台市立病院 ○澤井 彰
- 1-4 「地域」で働く医療ソーシャルワーカーの存在 ～事例を通して～
公益社団法人 豊島区医師会 ○中辻 康博 武山 ゆかり
- 1-5 新潟市西区社会福祉施設における浸水災害対策の現状と課題について
—高齢者施設、障害者施設に着目して—
小規模多機能型施設 笑顔 ○宮 淑恵
- 1-6 被災地におけるソーシャルワーカーの二次的外傷性ストレスと関連要因
—二次的外傷性ストレスに気づくために—
地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター ○佃 志津子 東京保健医療大学 橋本 美幸
埼玉県立大学 梅崎 薫
- 1-7 東京都医療社会事業協会による東日本大震災支援の取り組み
—組織として活動を継続することへの視点 2014年度—
東京都医療社会事業協会 ○加藤 淳 厚生中央病院 安仁屋 衣子
東京新宿メディカルセンター 山崎 まどか 第一病院 仲谷 恵美子
大久野病院 伊藤 正一 自宅会員 武内 昶篤
豊島区医師会 武山 ゆかり
- 1-8 外来受診促進の工夫 ～減量・糖尿病外科受診患者援助を通して～
四谷メディカルキューブ ○中里 哲也

第2分科会 ソーシャルワーク実践Ⅱ

座長 川越病院 西村 睦美 氏

- 2-1 認知症外来におけるソーシャルワーク介入の現状と課題
～札幌麻生脳神経外科病院の取り組みから～
札幌麻生脳神経外科病院 ○星野 由利子
- 2-2 死別により単身化したクライアントへのMSWのグリーフケアの一考察
地方独立行政法人徳島県鳴門病院 ○郡 章人 黒田 百恵 林 春菜
- 2-3 がんターミナル期の転院・施設入所支援
大阪府済生会中津病院 ○武部 経介 角村 勇樹 高取 梓 笠藤 晋也
渡邊 由美 松下 麗子 富士川 浩子
- 2-4 救命救急センターに交通外傷で入院した住所不定患者が抱える社会資源利用とソーシャルワーカー実践
国立国際医療研究センター病院 ○寺田 祥子 芳田 玲子 中山 照雄

- 2-5 患者の発症後から始まる権利擁護のソーシャルワーク援助について ～司法書士との連携～
社会医療法人社団 森山医会 森山記念病院 ○高橋 澄穂 福田 薫 田中 玲奈
- 2-6 脳卒中地域医療連携パス運用における医療ソーシャルワーカーの役割に関する考察
順天堂大学医学部附属浦安病院 ○須田 麻里子 伊藤 友美 神楽 知佐 山田 裕美
塩路 直子
- 2-7 発達障害児を養育する家族が抱える心理社会経済的問題への支援についての一考察
～養育者の抱える問題の分析と支援方法の検討～
獨協医科大学越谷病院 ○山根 修
- 2-8 児童虐待対策チームの活動を通して見えてきた課題
東京女子医科大学八千代医療センター ○田中 亜季 縄島 正之 松尾 莉子 柳澤 舞実
森口 小津恵
- 2-9 無料低額診療事業の活用による効果と求められる役割 ～生活困窮を抱える高齢者世帯への援助を通して～
大阪府済生会千里病院 ○東口 奈央 岩間 紀子 實 友理香 梅垣 ことみ
西脇 早苗 簗内 公子

第3分科会 業務分析・業務開発 I

座長 同志社大学 野村 裕美 氏

- 3-1 業務統計(日報)の活用と効果について
大手町病院 ○森川 尚子 本松 由紀美 平古場 麻美 都合 仁美
犬塚 早紀
- 3-2 専門的支援の可視化の試み
JCHO 東京山手メディカルセンター ○柳田 千尋
- 3-3 宮崎大学医学部附属病院救命救急センターにおける医療ソーシャルワーカー介入の現状
宮崎大学医学部附属病院 ○濱村 まり
- 3-4 患者・家族に主体性をおいた転院支援の方法の検討 ―脳梗塞患者の転院支援の分析から―
東京女子医科大学病院 ○玉川 ひとみ 田中 美里 越智 緑 中村 明子
岡野 かおり 村本 ゆう子 富川 由美子 木舟 雅子
- 3-5 退院支援における感染制御部との連携に関する取組の報告
東京医科歯科大学医学部附属病院 ○林 千尋 國分 ゆう子 寺田 実央
- 3-6 当院ソーシャルワーカー業務における在院日数短縮に向けた取り組み
～後方連携病院への転院待機期間短縮に向けて～
社会医療法人若弘会 若草第一病院 ○坂本 真衣
- 3-7 ホームレスに対する医療機関の取り組みの現状
～第二・三次救急医療機関へのアンケート・ヒアリング調査を踏まえて～
刈谷豊田総合病院 ○樋渡 貴晴
- 3-8 本人本位のケアから始まる多職種連携とMSWの役割について
たたらりハビリテーション病院 ○大森 裕之 野澤 由香 白水 竜一

3-9 人生の最終段階における医療にかかわる相談支援の取り組み

社会医療法人 恵和会 西岡病院 ○岡村 紀宏 田附 悠子

第4分科会 業務分析・業務開発Ⅱ

座長 大阪府済生会千里病院 岩間 紀子 氏

4-1 当院における無料低額診療事業 利用抑制要因の分析

安房地域医療センター ○有原 正悟 香田 道丸 石井 紗矢香 石井 貴晃
小川 千尋 平岡 恵

4-2 東京都北多摩南部保健医療圏における高次脳機能障害者支援マップ作成の試み

東京慈恵会医科大学附属第三病院 ○八城 直子 鈴木 亜都佐 佐野 祐希枝 大崎 水緒
渡辺 ひさみ

4-3 事業を通じたソーシャルワークの展開 ～熊本県医療ソーシャルワーカー協会の取り組みについて～

悠紀会病院 ○久保 茂樹 熊本機能病院 加来 克幸
城南病院 土肥 尚浩 くまもと成仁病院 村上 充
にしくまもと病院 野方 啓次

4-4 ミニ健康教室オアシスの現状と課題 ～ロジック・モデルを活用した振り返りを行って～

JCHO 群馬中央病院 ○佐野間 寛幸

4-5 患者サポート体制充実加算の相談傾向と今後の課題について

岡村記念病院 ○田中 賢司

4-6 救命救急センターにおけるソーシャルワーク業務の検証

東海大学医学部附属病院 ○秋山 洋平 内田 敦子 塩田 哲也 伊勢 啓一

4-7 完全電子化に伴うMSW記録の構築に関する報告 ～東海大学病院の工夫～

東海大学医学部附属病院 ○伊勢 啓一 秋山 洋平 塩田 哲也 内田 敦子
東海大学医学部附属八王子病院 細金 操

4-8 「MSW 介入」をアウトカムとした軽症脳梗塞パスの作成と運用の効果

国立病院機構高崎総合医療センター ○小林 里沙 佐俣 智子 木村 絵梨奈 篠原 純史

4-9 呼吸器科病棟における専従 MSW 配置の効果と一考察

国立病院機構高崎総合医療センター ○西川 明里 佐俣 智子 木村 絵梨奈 高橋 紀貴
影山 美紗子 小林 里沙 山田 拓哉 掛川 瑤子
佐藤 拓海 飯塚 真由美 篠原 純史

第5分科会 人権とソーシャルワーク実践

座長 杉並区地域包括支援センターケア24松ノ木 渡邊 姿保子 氏

5-1 ソーシャルワークのグローバル定義からみる人権とソーシャルワーク

—4つの原理の相関、ソーシャルワークの中核のシステム図を使用して—

国立病院機構松江医療センター ○松本 昌広

5-2 社会的問題を抱えて、海外から帰国する日本人患者への支援(実践報告)

成田赤十字病院 ○浅野 慎治 関 理枝子 山元 かおり 小木 絵里奈
坂本 唯

- 5-3 自己決定を生み出すソーシャルワークの機能に関する分析 ―揺れる気持ちに寄り添う援助を通して―
大阪府済生会千里病院 ○西脇 早苗 岩間 紀子 實 友理香 東口 奈央
箕内 公子
- 5-4 滞日外国人のがん終末期における多文化ソーシャルワーク
淀川キリスト教病院 ○峯 真奈美 宮田亜紀
- 5-5 意思表示ができない患者の治療方針決定への支援
岡山済生会総合病院 ○宮田 有紀子 井上 美夕起 花房 亜紀
済生会吉備病院 岩藤 紀子
- 5-6 虐待対策チーム発足5年間の取り組み ～活動の実際と電子カルテ導入に伴う虐待記録システムの開発～
東京慈恵会医科大学附属第三病院 ○鈴木 亜都佐 八城 直子 佐野 祐希枝 大崎 水緒
渡辺 ひさみ
- 5-7 除染作業員への退院支援～震災後、医療機関で見た除染作業員の現状と課題～
一般財団法人 脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院 ○田沼 千恵美 奥山 一実 小松 里美 加藤 裕美
熊谷 幸広 野本 尚子
- 5-8 退院支援プロセスにおける意思決定支援 ～いつ、どこへ、どのように退院したいですか？
まつもと医療センター中信松本病院 ○植竹 日奈 山本 理紗
まつもと医療センター松本病院 小林 和代 宮沢 春奈

第6分科会 教育・スーパービジョン

座長 沖縄大学 富樫 八郎 氏

- 6-1 経験4年目未満のソーシャルワーカーの離職意向に関連する要因の検討
イムス三芳総合病院 ○小島 美智子 三愛会総合病院 清水 博人
埼玉みさと総合リハビリテーション病院 加藤 理 香川大学医学部附属病院 清水 裕子
- 6-2 目標管理シートを利用した新人育成 ～ブラザーシスター制度を活用して～
大阪府済生会吹田病院 ○八木 和栄 廣部 麻由子 高地 優里 川口 真理子
- 6-3 新人ソーシャルワーカーによるピアスーパービジョンの効果と課題について
八王子山王病院 ○下日向 安佳里 北里大学病院 市川 賀一
神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター 高田 奈央 菊池 まどか
- 6-4 回復期リハビリテーション病棟における福祉職の自己教育力
医療法人社団 久英会 高良台リハビリテーション病院 ○山口 尚大
- 6-5 介護支援専門員の医療連携に対する消極姿勢について ～苦手意識と連絡方法との関連について～
有限会社諫早ケア・サービス ○中村 邦洋
- 6-6 スーパービジョン実践報告 ～成果とそれを支えたもの～
横浜市立大学附属市民総合医療センター ○渡邊 貴子
- 6-7 職場外スーパービジョンの効果 ～診療所における支援体制の確立に向けて～
野村内科クリニック ○野村 敏彦
- 6-8 神奈川県における「多文化ソーシャルワーク講座」の考察と課題
鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 ○鶴田 光子